

令和7年度事業報告書

概 況

我が国の景気は、内閣府の月例経済報告によると、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要があるとしています。

高齢者の就業については、国の働き方改革の推進による定年延長の拡充や、高年齢者雇用安定法の改正により70歳までの就業機会の確保が企業に努力義務として課されたことで、60歳台の会員確保が大変難しくなっています。また、インボイス制度やフリーランス法の施行により、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は全国的に厳しい状況が続いています。

こうした中、知多市シルバー人材センター（以下「センター」という。）においては、「第2次中期計画」の基本方針に沿って各種事業に取り組み、特に「会員数の増強」に注力した結果、会員数は微増ですが、前年度より7人増の571人となり、受注事業実績については、受注金額が、約4.5%増の220,786千円、派遣による給与等が、約8.3%増の34,496千円となりました。会員数は4年連続で、受注事業実績は3年連続で増加しています。

1 運営基盤の強化

（1）会員による運営参画の推進

理事会を中心に、専門委員会（企画調整委員会、安全・適正就業委員会、就業開拓委員会、会員増強委員会）が自主的な企画立案・実務運営に努めました。

（2）会員交流の推進

会員相互の親睦を深めるため、同好会の活発化と拡大を進め、新たな「ボウリング同好会」の立ち上げを支援しました。

（3）技能・資質向上、安全作業のための講習等の開催

草刈り・剪定等の屋外作業については、草刈機取扱安全講習会（2回）、剪定（刈込含む）講習会（3回）を開催し、一般市民も対象とすることで将来的な就業可能な人材の養成に取り組みました。

また、施設管理に必要な普通救命講習会（2回）、熱中症やマムシ・ハチなどの咬傷・刺傷の応急処置を学ぶ救急法講習会（2回）及びトラブル防止のために接遇マナー・ハラスメント講習会、就業中等での事故防止のための安全講習会や個人情報に関する安全講習会を開催しました。更にスマートフォン講習

会（３回）と健康講習会（２回）を実施し、会員の資質や就業の質の向上に努めました。

（４）経営基盤の確立

センターの安定した財政基盤を確保し、良好な事業運営を継続するため、長年 1,000 円に据え置かれていた年会費を、８年４月１日から 2,000 円に改めることについて、総会の議決を得ました。また、フリーランス法の施行に伴う契約方法の見直しに向けた準備を進めました。

２ 会員の確保

会員募集については、ちたシルバーだより、ホームページ及び市広報への掲載に加え、会員募集チラシの新聞折り込み配布（３回）及び、産業まつり等のイベントでポケットティッシュ配布によるＰＲ活動を行いました。

また、市内各施設への募集チラシの設置依頼、会員紹介キャンペーン等を継続しています。新たな試みとしては会員以外も参加できる、ぬか床造り講習会等を開催し、シルバー活動のＰＲに努めました。

会員数は、前年度に比べ、７人増の５７１人となり、目標の５７０人を上回っています。

３ 就業機会の確保

（１）就業開拓の推進

新たな就業先開拓については、イベントや市内スーパーマーケットでの啓発用ポケットティッシュの配布や事業所訪問活動に加え、会員募集チラシの新聞折り込み配布等を実施し、受注の拡大に努めました。

その結果、契約件数は 3,965 件（目標 5,850 件、前年度 4,114 件）、契約金額は 255,282 千円（目標 236,600 千円、前年度 243,080 千円）となり、契約件数は目標に達していませんが、契約金額は目標を上回っています。

（２）独自事業の実施

佐布里池梅まつりやベティさんの家旭公園桜まつり等への出店事業、手芸品の製作販売事業、おさらい教室事業に取り組みました。また、設立 40 周年記念事業として実施した書道教室を、８年度から独自事業として継続することになりました。

４ 労働者派遣事業の拡大

会員の多様な就業機会を確保するため、市内事業所に派遣事業のＰＲを図るとともに、会員に対して就業斡旋を行いました。

その結果、給与等は 34,496 千円（目標 20,540 千円、前年度 31,867 千円）となり、目標を上回りました。

5 安全・適正就業対策事業の徹底

（１）安全就業の徹底

安全・適正就業委員会を中心に、安全パトロール（６回）を実施しました。また、安全講習会（個人情報、救急法）を開催するとともに、公用車運転機会の多い会員（13 名）に対し、ドライバー適性検査を実施し、事故に対する意識啓発に努めました。

7 年度の事故件数は、物損事故 12 件（目標 0 件、前年度 9 件）、傷害事故 12 件（目標 0 件、前年度 13 件）となり、前年度より物損事故は 3 件増加、傷害事故は 1 件の減少となっています。

（２）適正就業の徹底

会員への就業紹介は、会員個々の能力や体調・特性等に応じた「適材適所」を基本とするとともに、「就業会員募集情報」をホームページ等で広く紹介しています。

また、接遇マナーの向上とトラブル防止を目指して、接遇マナー・ハラスメント講習会を開催しました。

7 年度の苦情件数は 8 件（目標 0 件、前年度 2 件）となり、前年度から 6 件増加しました。

6 普及啓発事業の充実

産業まつりやシルバー人材フェスタ（愛知県 SC 連合会主催）等のイベントに積極的に参加し、センター事業の周知に努めるとともに、イベント参加時やスーパーマーケット等でのポケットティッシュ配布による啓発活動を行いました。

メディアの活用としては、一般市民も対象とした講座や講習会の実施情報を知多メディアス等に提供することにより、活動状況を放送していただき、魅力あるセンターの PR を行いました。SNS の活用では、引き続きセンター公式のインスタグラムとラインを利用し、普及啓発に努めています。

7 その他事業推進のために必要な事業の実施

（１）調査研究事業の実施

役員班長研修として、先進他市センターである犬山市シルバー人材センターの視察研修会を実施し、安全就業への取組みや女性会員の獲得について説明を受けました。

また、センター間職員研修として、碧南市シルバー人材センターと日進市シルバー人材センターに職員を派遣し、事業運営や事務要領等を学び、事務局職員のキャリアアップを図りました。

(2) ボランティア活動の実施

地域社会に貢献する公益社団法人として、「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間（10月）」を中心に、地域班毎に保育園等（12箇所）の清掃・除草を行いました。

また、シルバースマイルボランティア（会員、事務局職員 72 人参加）活動では、梅子マラソン会場周辺の清掃を実施しました。

(3) 個人情報等の漏えい防止

理事会、班長会等において、個人情報の適切な管理と取扱いについて説明しました。

また、シルバー広報での周知や個人情報に関する安全講習会を開催し、意識啓発の徹底に努めました。

(4) 知多市高齢者能力活用会館の指定管理業務

6 年度から 10 年度までの 5 年間、センターが知多市高齢者能力活用会館の指定管理者として指定を受けており、「公の施設」である会館の適切な維持管理に努めました。利用実績は、利用件数 726 件（前年度 641 件）、利用者数 5,101 人（前年度 4,748 人）で、いずれも前年度より増加しました。

(5) 事務所庁舎の移転検討

移転先、規模等の事務所庁舎のあり方について、市との調整を継続していきます。

(6) 設立 40 周年記念事業

実行委員会を設置し準備を進め、7 年 10 月 1 日付で記念誌を発行し、10 月 11 日に設立 40 周年記念式典を開催しました。

(7) 事務の効率化・簡素化

Smile to Smile の活用等を進め、事務の効率化・簡素化も検討を進めました。今後も引き続き検討を進め、会員の安心・安全な就業環境を整備するとともにセンターの安定的な事業運営のための事務改善に努めます。